



iP-U レターズ

incubation Program for innovative students at Utsunomiya University

令和2年1月10日現在 iP-U 受講者数
基盤プラン 39名
才能育成プラン 12名

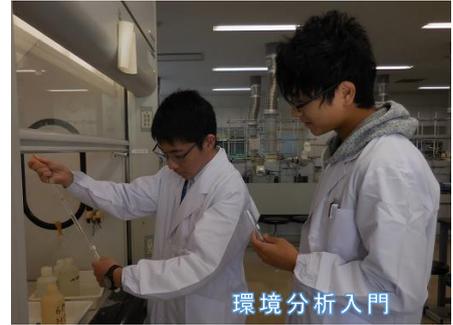


Vol.8

発行元：iP-U 事務局 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350 宇都宮大学 TEL028-649-5411 / 発行日：令和2年1月10日

11月のリフレクションシートから

11月は10講座(累計13回)が行われました。今回も受講生のリフレクションシートの中からいくつか紹介します。残り少ないiP-Uの授業ですが、「5つの基盤的能力」を意識して、授業や課題に取り組んでください。



環境分析入門

先生が始めに「化学は物質と物質の変化を扱う学問であり、決して暗記教科ではない」と仰った。その言葉通り、赤色沈殿がきれいにできたときは感動し、使う薬品を変えれば沈殿色も変わるのか・どれくらいのバリエーションがあるのか知りたくなった。

環境分析入門

目標とは違う結果が出て、また新たな目標をたてることで、何かの成功を導き出せることを知った。そのためには、いろいろな分野に興味を持ち知識を持つこと、周りを巻き込むことが必要。

何かを成功させるには、iP-Uの基盤的能力が重要なのだとわかった。

幸運をつかむコツ

感性工学は、実際がどうであるかよりも人間がどう感じるかを重視することだとわかった。そして、人間の感覚器官についてもっと調べていけば、例えばネットで洋服を買うときの画像と実物で感じる印象の違いを少なくしたり、画面の中で服の試着ができるようにするなど、広く応用できることを知った。工学への興味が大きくなった。

感性工学入門

普段のiP-Uメンバー以外の人たちと一緒に実験をするため、円滑で安全に実験しようとして意識していた。担当してくださった技術スタッフの方を見習って、周囲へ気を配りながら人の気持ちを考えて行動した。これは研究者として必要なスキルだと思う。この感覚を日頃から持ち続けることが大切だと思った。

一日体験化学教室

将来、自分の研究で必要になる顕微鏡を使用して学習できた。サンプルの写真を撮って、スライドを作成する作業は、時間の計画を立てて行わなければならないことがわかった。これは「コツコツカ」だと思う。

光学顕微鏡で覗く
生物のマイクロワールド



宇都宮大学UUSで
小学生に理科実験を教えてください



みなさんの成長報告書から

今回は 11 月の成長報告書の中から、2 人の受講生の質問とその回答を紹介します。

A さんの質問「勉強に身が入りらない」

勉強に身が入らない原因はスマホだと分かっているのに、ついまたスマホを触ってしまいます。どうしたらいいですか。

回答

スマホ…、非常に便利だけど、使い方によっては諸悪の根源になりかねないモノですよ。

集中したいと思うときは、なるべく刺激が少ない方がよいということがわかっています。光や音も変化のない方が集中しやすいです。

ということは、目線に窓がない方がいいですし、スマホやテレビ、マンガや雑誌といった誘惑されてしまうものもない方がいい。少なくとも、A さんが誘惑されてしまうものは目につかないところに移しましょう。もっと言うと、スマホはリビングに置か親に預けるなどすると良いです。

清水敬也著「夢をかなえるゾウ」(飛鳥新社) という本があります。

その中に『決めたことを続けるための環境を作る』という章があります。

例えば「これからはテレビを見ないようにする」と決めたとする。でも決めただけでは何も変わらない。人間は意識を変えることが難しい。

みんなが「今日から頑張っ変わろう」と意識するけれど、実際は変わらない。人間の意志なんてとても弱い。だから、本気で変わろうと思うなら「意識」を変えるのではなく「具体的な何か」を変えなければならない。「テレビを見ないようにする」場合の具体的な何かとは…。

“テレビのコンセントを抜いたら、テレビを見なくなっても、一度立ち止まるやろ。そしたら、今までよりもテレビ見んようになる可能性は、ほんの少しやけど高くなるやろ。自分が決めたことを実行し続けるためには、そうせざるをえないような環境を作らなあかんということや。ただ決めるだけか、具体的な行動に移すか。それによって生まれる結果は全く違ってくるんやで。”

と書いてあります。どうですか？

A さんも、具体的な行動に移してみてもはどうでしょう。

B さんの質問「失敗をひきずってしまう。」

一度した失敗をズルズル引きずってしまい、中々前向きになれず、自分を責めてしまいます。こういうときは前向きに考えようと意識した方がよいのでしょうか。

回答

「前向きに考えようとする」、いいですね。私もそう思います。

でも、その前に、失敗したことを悔しがったり、それなりにきちんと落ち込むのも良いことです。くよくよした後はもう前を向くだけです。失敗をしっかり客観視していろいろな視点から分析してみましょう。

なぜ失敗してしまったのか、自分が失敗とと思っている事柄の「どの部分」が「どう悪かった」のか分析してみるのです。そしてそこから、その失敗を繰り返さないための対策を立てるわけです。

この作業を終えたとき、B さんは新たな気づきや発見、新しい視点や考えを手にすることができるのです。これって、すごいことだと思いませんか？失敗があったからいろいろ考えられるし、何かを見つめることができるのです。こう考えたら、失敗も WELCOME ですよね。

…なんて、普段は思えたとしても、いざ失敗したときにはそうは思えないかもしれません。でも本当に、人って、失敗した分大きくなれるんです。(もちろんその後の客観的観察や分析は必要ですが)

失敗を引きずってしまいそうなときは、このコメントをもう一度読み返してみてください。

B さんが、前向きに考えられるようになることを応援しています。

1 月の予定

11 日(土) プレゼン力養成講座(最終回)

12 日(日) 研究倫理ワークショップ

13 日(月) 数学オリンピック 1 次予選

26 日(日) グローバルコミュニケーション

31 日(金) 1 月分成長報告書

提出締め切り

編集後記



入試制度が行きつ戻りつしていることは、みなさんも気になっていると思うと思いますが、iP-U で学んでいることは、入試にもその後の生活にもジワジワと効いてくる良薬です。ぜひ、iP-U での経験を振り返ってください。(大)